

経歴

- 1963年 8月 生まれ、血液型O型、金星人 (-)
1982年 3月 愛知県某高等学校卒業
1984年 3月 専門学校デンタル学院歯科技工士科卒業
1984年 4月 名古屋市の Sun Dental Laboratory 入社
1985年 3月 東海歯科医療専門学校専攻科卒業
1985年 4月 東海歯科医療専門学校非常勤講師
1987年 9月 渡欧 (スイス) し Busch Dental (チュリッヒ・ベルン・トゥソンの3都市のラボ) 入社
1988年 11月 第二回国際歯科技工士学術世界大会テクニカルコンテストにて銀賞受賞
1989年 1月 Buch Dental Ag Bern テクニカルチーフ就任 (ベルン州にある、スタッフ16人のラボ)
1992年 11月 帰国後、(株)カスプデンタルサプライ入社 (現在のノリタケデンタルサプライ)
1993年 2月 渡米し Cusp Dental Reseach.Inc (ニューヨーク州マンハッタン) 3ヶ月滞在派遣
1993年 5月 帰国後、Cusp Dental 岐阜営業所として Dental Labor EDEL (エデル) 開設 (所長就任)
1993年 10月 Noritake Porcelain 海外インストラクター
1996年 11月 Dental Labor SEELE (セール) 設立 (愛知県一宮市) 【SEELE ⇒独語で魂】
1998年 1月 SJCD (Society of JAPAN CLINICAL DENTISTRY) 会員
2006年 1月 SEELE 移転 (愛知県稲沢市)
2008年 4月 早稲田大学 人間科学部 (通信教育課程) 人間情報科学科 入学
2010年 4月 色彩認知 齋藤理事 (前人間科学部学部長) Saito.Labo 所属
2012年 3月 早稲田大学 人間科学部 卒業
2012年 4月 日本大学 経済学部経済学科 (通信教育課程) 編入学
2013年 3月 胸椎圧迫骨折(Th 5 / 8 / 10) 破裂骨折(Th 9)【脊椎インプラント(Pedicle Screw) 14本刺入&固定(Rod fixation : Th 5~12)】
2015年 3月 日本大学 経済学部 教員免許取得単位修得の為 退学

免許・資格・賞

- 1982年 3月 普通自動車免許
1984年 3月 専門学校デンタル学院理事長賞・校長賞・皆勤賞
1984年 3月 愛知県知事賞
1984年 3月 歯科技工士免許
1988年 11月 世界大会 銀賞受賞 (10年に1度の世界技術コンテスト)
1997年 6月 二級小型船舶操縦士
2012年 3月 高等学校一種教諭免許 (情報)
2012年 9月 愛知県警察署 (15年間無事故無違反)
2013年 12月 フォークリフト運転技能講習修了 (最大荷重1t以上∞) & 玉掛け技能講習修了 (制限荷重1t以上∞)
2014年 1月 大型一種運転免許 (車両総重量11t以上∞&乗車定員30人以上∞)
2014年 1月 小型移動クレーン技能講習修了 (最大荷重5t未満)
2014年 3月 乙種第4類危険物取扱者 免状
2014年 9月 第二種電気工事士 免状
2014年 10月 運行管理者資格者 免状 (貨物)
2014年 11月 高等学校一種教諭免許 (公民)
2014年 3月 証認定電気工事士認定者証 取得
2016年 6月 個人情報保護士 認定証 取得 (マイナンバー対応)

主な講演・発表

- 1988年 6月 17,der Arbeitsgemeinschaft Dentale Technologie (ドイツ) 【マルフリー-レストレーション】
1993年 10月 第14回日本口腔インプラント学会中部支部総会 (朝日大学) 【インプラント上部構造体について】
1994年 4月 3rd World Congress for Oral Implantology (パシフィコ横浜) 【A study of the Implant Superstructure】
1999年 9月 SJCD 合同例会 (愛知芸術文化センター) 【演題: 適合へのこだわり】
2012年 5月 日本色彩学会第43回学会全国大会 (京都大学) 【演題: 歯科領域における面積効果に関する検討】
etc

主な発表文献

- 1986年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 遊離端欠損におけるインプラント上部構造体の製作 ~部分床養歯への移行とメントによる浮き上がり を考慮した作成法~ 歯科技工、VOL.14 NO.6:673~686
1986年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: セメントによる内外冠の浮き上がりどのように防止するか 歯科技工、VOL.14 NO.6:687~693
1986年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 遊離端欠損インプラント上部構造体において部分床養歯への移行をどのように防止するか 歯科技工、VOL.14 NO.6:694~701
1986年 『インプラント上部構造体製作の問題点』: 下顎総養歯の維持力増強装置をどのように作るか ~I.T.I 中空ソリダ・インプラント支台の場合~ 歯科技工、VOL.14 NO.6:702~709
1988年 『技工室における近接撮影テクニック (上)』~カメラレンズとフラッシュについて~ 歯科技工、VOL.16 NO.5:551~558
1988年 『技工室における近接撮影テクニック (下)』~MINOLTA α-9000を中心とした接写テクニック~ 歯科技工、VOL.16 NO.6:721~732
1988年 『OPTEC システムのオルセミック補綴物の製作』 ~耐火模型材を備えた作業用模型の製作およびストレイクテクニック~ 歯科技工、VOL.16 NO.10:1079~1092
1988年 『OPTEC システムのオルセミックインレ・アンレへの応用』 ~製作時の注意点. 製作技法およびその問題点~ 歯科技工、VOL.16 NO.11:1215~1226
1989年 『リジットサポ-トの有床養歯への移行と審美性を考慮したトタルセモタルレストレーション』 歯科技工、VOL.17 NO.3:
1989年 『ハイブリッドファイラ型光重合レジン・インレ修復テクニック』 Quintessence of Dental Technology . VOL.14/1989 : September 1183~1190
1990年 『"Box-Geschiebe" とヒソロック. ボンディングテクニックを用いたコンビネーション養歯の製作 "SPACER-TECHNIK" 歯科技工、VOL.18 NO.1:61~73
1991年 『NEW Implant system "Ha-Ti Implant"』 ~その概要と特徴そして術式~ 歯科技工、19 NO.7:747~759
1992年 『ボン・アノカト・フルブリッジ補綴の現状と可能性 (I)』 ~上部構造のあり方~
Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : September 1103~1115
1992年 『ボン・アノカト・フルブリッジ補綴の現状と可能性 (II)』 ~I.G.Bテクニックによる上部構造の製作~
Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : October 1229~1243
1992年 『Masterpiece: I.G.B Technique による金属燃付ボ-セル・テレス・コブ・デンチャー』 Quintessence of Dental Technology. VOL.17/1992 : December
2012年 『歯科領域における面積効果に関する検討』 日本色彩学会誌 36号 2012.05.01 P116-117
etc